

II 肉用牛部門

1. 本県肉用牛の動向

- (1) 飼養戸数は、全国的に減少で推移しており、本県の場合も平成4年の370戸をピークに小規模経営を中心に減少してきた。平成23年2月1日現在の肉用牛飼養状況は、農林統計（農水省）によると、飼養戸数は84戸で前年に比べ2戸減少した。飼養頭数は平成6年の7,590頭をピークに減少傾向で推移している。平成19年には4,770頭と前年に比べ160頭の増加がみられ、平成20年も更に260頭増加したが、平成21年、22年には減少し、平成23年は4,730頭と20年から300頭減少している。1戸当たりの飼養頭数は、平成5年まで20頭前後で推移していたが、以降徐々に増加している。平成23年は56.3頭で、前年の57.4頭を下回った。（表-1）
- (2) 肉用牛飼養構成は肉用種の子取用雌牛の頭数は平成6年の1,010頭をピークにその後は減少で推移している。肉用種肥育牛は、平成6年の1,890頭をピークにその後減少で推移していたが、平成20年から徐々に増加傾向である。交雑種は、平成3年以降大幅な増加が続いているが、平成12年の4,550頭をピークに国内でBSEが発生した平成13年から減少傾向である。平成23年度においては、肉用種の子取用雌牛290頭で、前年比93.5%、肥育牛は2,220頭で、前年比121.9%であった。交雑種は2,060頭で、前年比85.1%、乳用種は160頭で、前年比94.1%であった。交雑種及び乳用種については減少傾向で、肉用種について増加傾向が見られる。（表-1）
- (3) 肉用子牛（素畜）の取引価格は、農畜産業振興機構によれば、平成23年度平均で、黒毛和種雄が428千円、前年比102.6%、黒毛和種雌が366千円、前年比102.2%、交雑種雄が188千円、前年比76.4%、乳用種雄が90千円で、前年比108.4%であった。
交雑種初生牛は105千円で前年比77.7%、乳用種初生牛は36千円で前年比92.3%であった。（表-2）
神奈川県家畜市場においては交雑種初生牛・乳用種初生牛込みで88千円、前年比85.4%であった。
- (4) 平成23年度の枝肉の規格別卸売価格は、農水省食肉統計、東京食肉市場調査では、黒毛和種去勢A5規格は1,853円/kg、前年比88.8%であった。去勢和牛のうち高品質のA5規格は、BSEの発生した13年度に大幅に低下した。その後、平成18年度までは回復傾向で推移し、平成12年度対比102.9%でBSE発生前の水準まで

回復してきたが、平成 20 年度から下がりはじめ、平成 23 年度においては平成 12 年度対比 77.1% となっている。A 4 規格では 10 年度以降低下傾向で推移し、13 年度に大幅に低下した後には上昇傾向で、平成 18 年度には 2,190 円／kg で BSE 発生前の平成 12 年度対比 117.4% であったが、平成 20 年度から下がりがじめ、平成 23 年度には前年比 88.4% と落ち込んだ。中級規格 A 3 についても同様で、は、13 年度に大幅に低下した後には上昇傾向で、平成 18 年度には 1,967 円／kg で平成 12 年度対比 131.1% と BSE 発生前の水準を大幅に上回ったが、平成 20 年度から下がりはじめ、平成 23 年度には前年比 77.1% になっている。交雑種去勢 B 3 規格は 826 円／kg、前年比 77.1%、乳用種去勢 B 2 規格は 458 円／kg、前年比 70% であった。全品種について前年度を下回っている。(表-3)

横浜食肉市場の枝肉価格についてみると、バブル崩壊後の不景気で各品種とも枝肉価格の下落が平成 8 年度まで続き、平成 9 年度以降徐々に回復傾向にあったが、平成 13 年度には BSE の発生により枝肉価格は暴落した。平成 14 年度以降徐々に回復し平成 18 年度には BSE 発生前の水準に達している。

黒毛和種去勢の枝肉格付等級 5 では平成 10 年度以降、2,300 円／kg 台で堅調に推移してきたが、BSE が発生した平成 13 年度には 1,998 円／kg と大幅に下がった。その後、徐々に回復してきたが、平成 20 年のリーマンショック以降低下傾向に転じ平成 21 年度は 2,127 円／kg で前年比 92.3% であった。黒毛和種雌についても同様の傾向であった。(図 1)

交雑種雌の枝肉格付等級 3 では平成 9 年度以降、1,200 円／kg 前後で堅調に推移してきたが、平成 13 年度には 829 円／kg と大幅に減少した。その後回復傾向であったが、平成 20 年度から低下傾向に転じ平成 21 年度は 1,092 円／kg で前年比 91.6% となっている。(図 2)

表-1 肉用牛飼養の推移

(単位:戸・頭)

年	戸数	総頭数	乳用種	交雑種	肉用種	
					繁殖牛	肥育牛
H3	360	7,220	3,070	1,990	880	1,280
H4	370	7,090	2,560	2,110	920	1,500
H5	340	7,250	1,720	2,880	950	1,700
H6	340	7,590	1,450	3,240	1,010	1,890
H8	270	7,110	1,340	2,690	800	1,890
H9	230	7,010	1,110	3,380	700	1,820
H10	230	6,820	660	3,760	680	1,720
H11	220	7,030	520	4,210	570	1,730
H12	200	7,090	340	4,550	480	1,720
H13	200	6,520	250	4,150	470	1,650
H14	190	6,400	320	4,000	400	1,680
H15	160	5,650	270	3,310	380	1,690
H16	136	6,230	200	3,640	420	1,890
H17	117	5,360	280	3,150	360	1,460
H18	108	4,610	270	2,160	280	1,380
H19	91	4,770	280	2,590	240	1,400
H20	97	5,030	250	2,810	320	1,560
H21	96	4,990	200	2,760	200	1,730
H22	86	4,940	170	2,420	310	1,820
H23	84	4,730	160	2,060	290	2,220

「農林統計」

(毎年2月1日現在)

図1 横浜食肉市場肉質等級別枝肉価格の推移

（資料：横浜市農業課）

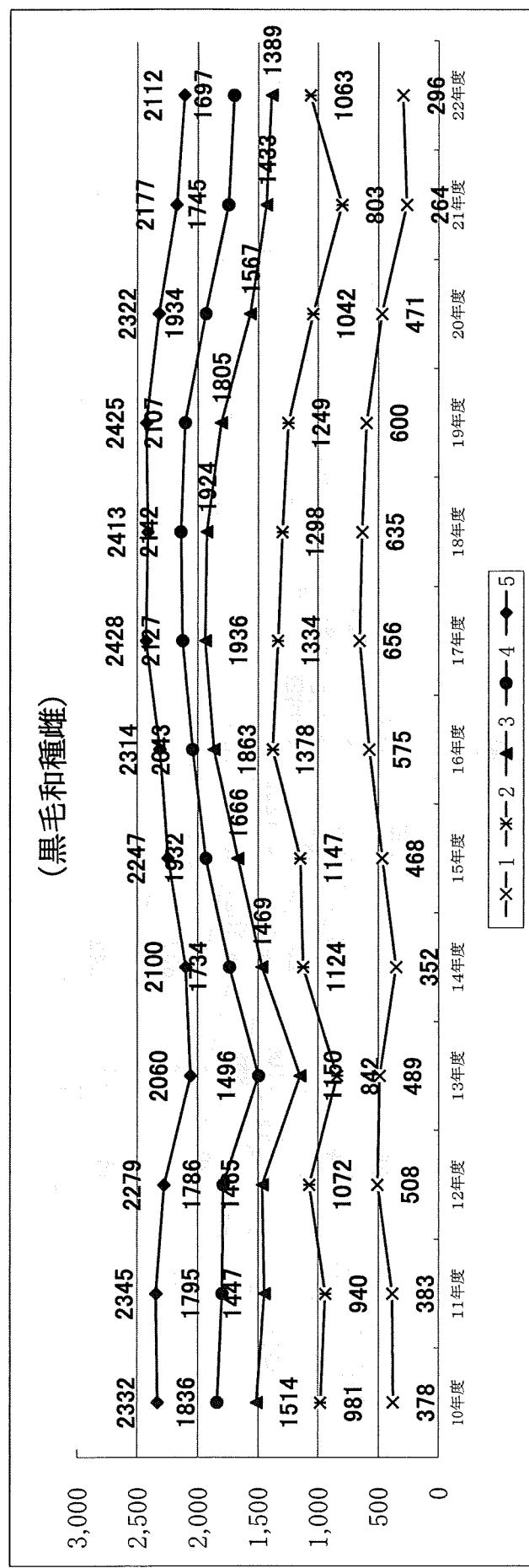
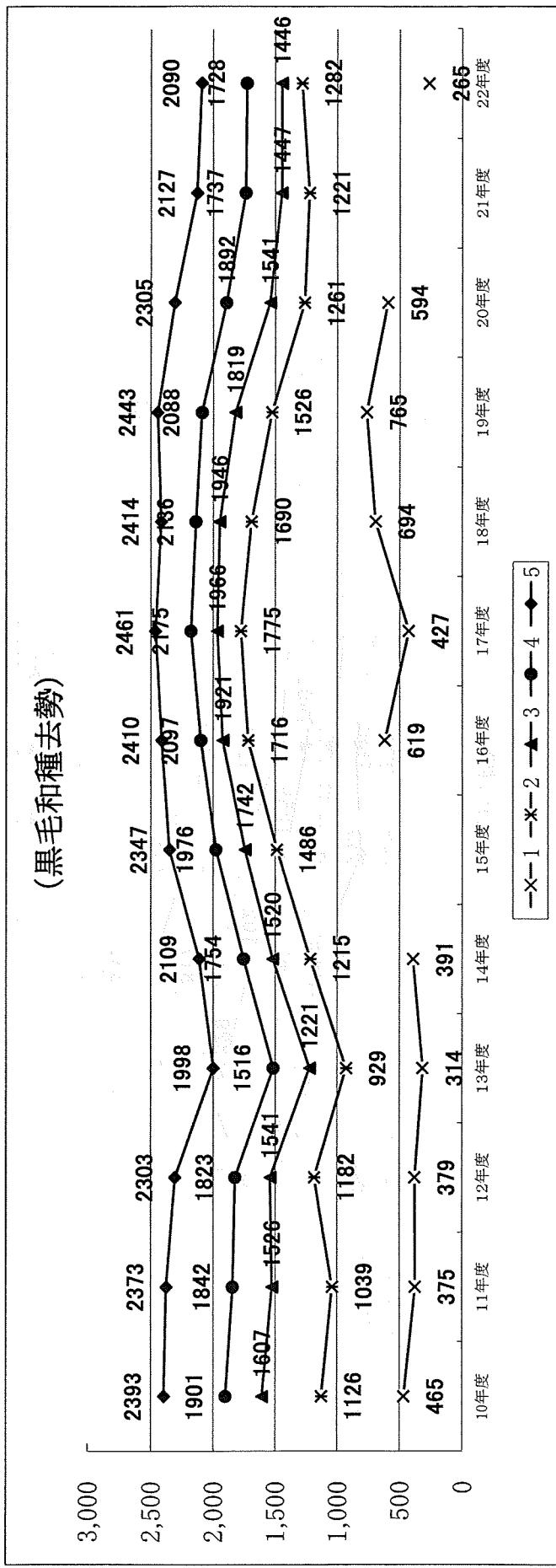
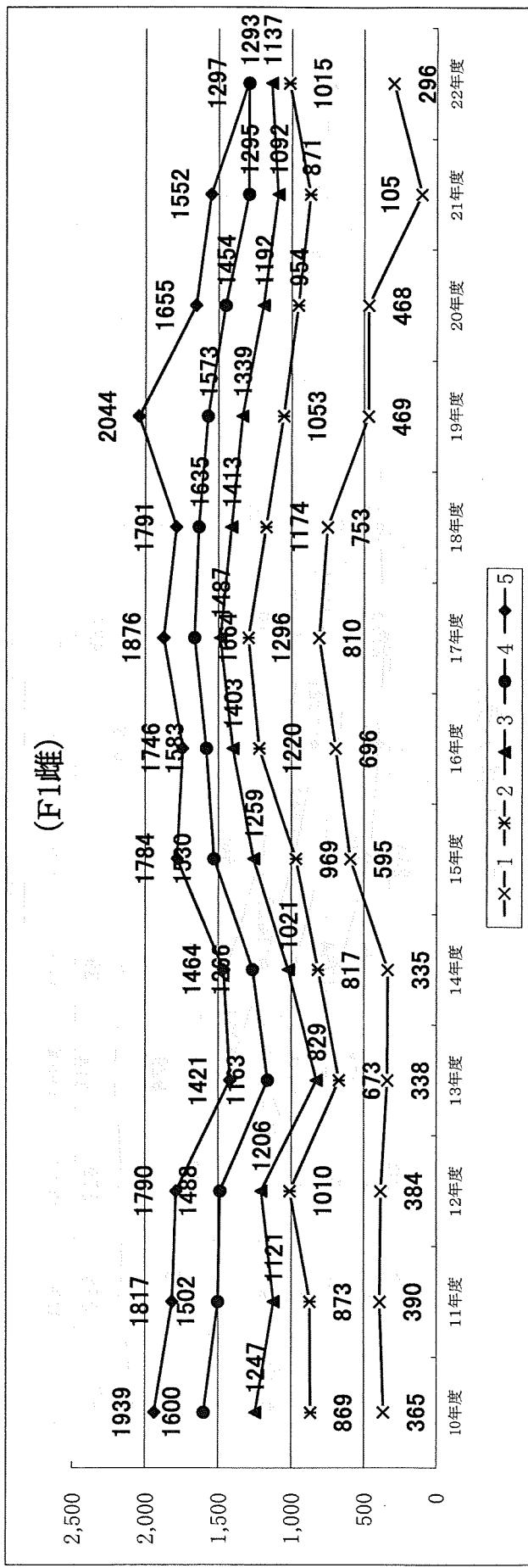
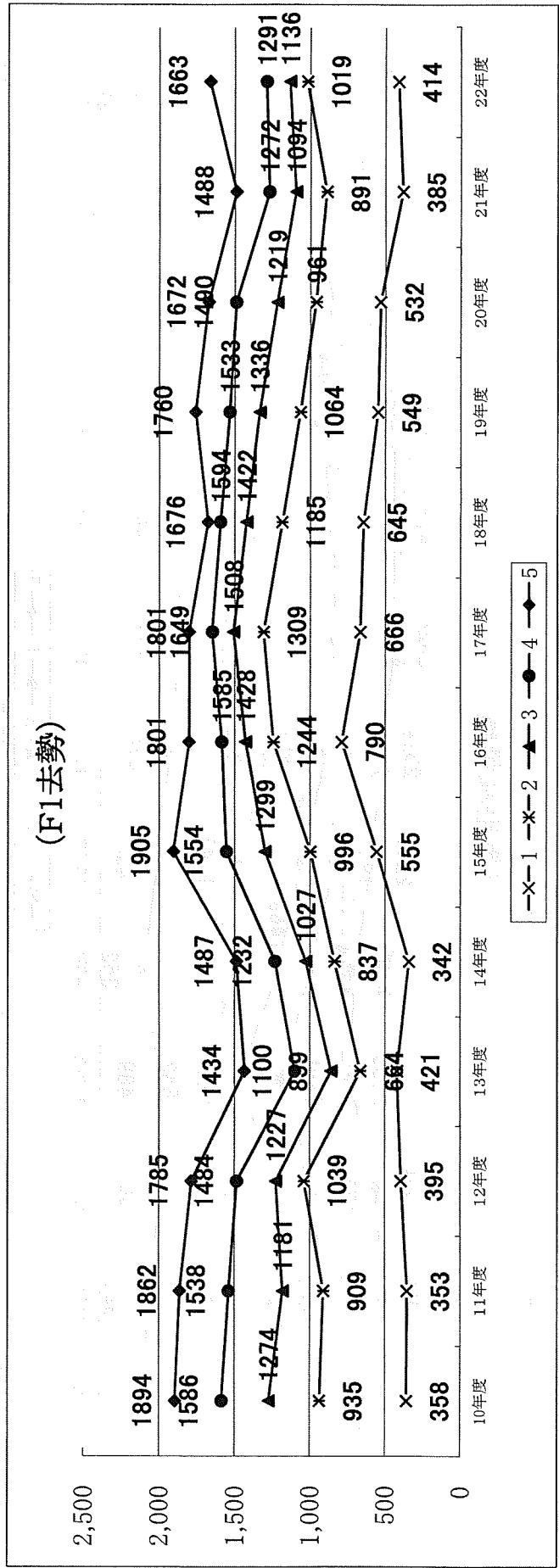


図1 横浜食肉市場肉質等級別枝肉価格の推移

※横浜市場月報より

図2 横浜食肉市場肉質等級別枝肉価格の推移



※横浜市場月報より

図2 横浜食肉市場肉質等級別枝肉価格の推移(交雑種)

2. 診断農家成績の分析概要

平成 23 年度畜産経営技術高度化促進事業実施にあたり肉用牛部門は、経営診断に基づく改善指導 5 戸、経営管理技術指導 1 戸、生産技術指導 2 戸、フォローアップ指導 5 戸の計 13 戸に対して支援指導を実施した。

このうち総合的に経営数値が把握できた 3 事例について経営実績の概要を述べる。

(1) 診断農家の飼養規模（表－4）

ア. 経営形態

3 事例とも肥育部門に繁殖和牛の一貫生産を取り入れている。

肥育部門においては、3 事例とも黒毛和種の肥育専門経営であった。

イ. 飼養規模

飼養規模については、労働員数 1 人当たりでは、肥育牛 50 頭以上が 2 事例、50 頭未満が 1 事例であった。

(2) 経営成果（表－5）

3 事例の生産費用と収益について比較してみる。

ア. 費 用

家族労働費を除いた総費用の各項目の割合は素畜費が 41.3%、購入飼料費が 31.1%、償却費が 3.1%、その他一次生産費が 10.7%、販売一般管理費及び営業外費用が 13.8%で、素畜費と購入飼料費を合わせると 72.4%と総費用の大部分を占めている。前年の素畜費と購入飼料費の占める割合が 72.2%で、ほぼ横ばいである。（図 3）

肥育牛 1 頭当たりの素畜費は 284 千円から 166 千円まで差がみられた。平均は 230 千円で前年の 251 千円を下回っている。

購入飼料費については最小が 160 千円、最大が 176 千円、平均 168 千円で前年の 187 千円を下回った。

その他の一次生産費を合わせた当期生産費用の合計では、最小が 387 千円、最大が 529 千円と 141 千円の差がみられた。平均は 475 千円で前年の 508 千円を下回った。

イ. 収 益

肥育牛 1 頭当たりの肥育牛販売収入は 604 千円から 505 千円で平均は 546 千円

で前年の 655 千円と比較して大幅に下回った。

売上高の合計は最小 514 千円から 619 千円、平均 554 千円で、前年の 663 千円と比較して大幅に下回った。

ウ. 所 得

肥育牛 1 頭当たりの所得はマイナス 7,398 円から 127,013 円と大幅に差がみられた。平均は 69,130 円で、前年の 48,313 円を上回った。

所得率は、平均 12.47% で、前年の 7.28% を上回った。

費用の構成割合の高い素畜費と飼料費について前年度を下回り、費用は全体的に下がっている。売上高については前年度を大幅に下回っているため所得について大幅な減少が見られた。

(3) 肥育成績

黒毛和種去勢肥育牛の個体成績について比較してみる。(表-6)

ア. 肥育もと牛の導入

飼養開始日齢は、277 日から 286 日、平均 282.9 日で前年度平均の 286 日を下回った。

飼養開始体重は、最大が 315 kg、最小が 295 kg で平均 309.5 kg と前年度平均 311.5 kg を下回った。

素牛導入価格は、517 千円から 481 千円で、平均 494 千円で、前年度平均の 601 千円を大きく下回った。

風評被害による枝肉価格の暴落と子牛市場のもと牛価格の高止まりが続いていることから素畜費を削減するため若干月齢の早いもと牛を導入していることから導入日齢及び体重が低くなっている。

イ. 出荷状況

出荷日齢は最大 956.1 日から最小 893.4 日、平均 910.4 日で、前年度平均の 932.1 日を下回った。

飼養日数は最大 670 日から最小 609 日、平均 627.1 日で、前年度平均の 627.1 日を下回った。

出荷体重は最大 859 kg から最小 792 kg、平均 819.6 kg で、前年度平均 839.1 kg を下回った。

枝肉重量は最大 563 kg から最小 527 kg、平均 538 kg で、前年度平均の 559 kg を下回った。

1日1頭当たり増体重(DG)は最大0.892kg、最小0.787kg、平均0.800kgで、前年度平均0.800kgと同様だった。

販売価格は出荷牛1頭当たり最大1,182千円から最小991千円、平均1,054千円で、前年度平均1,156千円を下回っている。

枝肉単価については最大2,175円/kgから最小1,761円/kg、平均1,960円/kgで、前年度平均の2,074円/kgを下回っている。

飼養日数の短縮により出荷日齢が早くなつたが、飼養期間中のDGは前年並みであったため出荷体重、枝肉重量は減少している。更に枝肉単価についても風評被害による暴落のため販売価格は前年の10万円減となっている。

(4) 生産性・収益性分析(黒毛和種若齢肥育)

黒毛和種去勢肥育牛販売価格から素牛価格を差し引いた増加額について、今まで分析してきた1号から3号の3経営に、素牛価格と出荷成績まで把握できた4号から10号までの7経営を加えた10事例について検討する。(表-7)

4等級以上の格付率は100%から22.2%と格差がみられ、平均は76.6%で前年の77.6%から1%下がった。1号から3号の平均は80.4%で他の経営を上回っているが、前年の81.9%を1.5%下回った。

枝肉重量は、440.1kgから563kgで平均518.1kgであった。前年度532.5kgを約14kg下回った。しかし年度ごとの平均値の推移をみると年々大型化が進んでいることがわかる。

枝肉単価は、1,060円/kgから2,175円/kgまで格差がみられ、平均1,840円/kgで前年度平均1,960円/kgを下回った。1号から3号経営の平均は、1,960円/kgで他の経営を上回っているが、前年の2,074円/kgを下回っている。

出荷日齢は855.8日から956.1日で、平均は912.7日で前年度の922.7日を下回った。1号から3号の平均は910.4日で他の経営を下回り前年の932.1日も大きく下回った。

素牛価格は242千円から517千円で、平均474千円と前年度601千円を大幅に下回った。

飼料費は経営数値のまとめた1号から3号までの数値であるが、265千円から286千円で、平均は272千円と前年度312千円を下回っている。

販売価格は447千円から1,182千円で、格差がみられ平均は968千円と前年度1,056千円を下回った。1号から3号の平均は1,054千円で他の経営を上回っているが、前年平均の1,156千円を大幅に下回った。

販売価格から素牛価格を差引いた1頭当たり増加額は234千円から664千円で大き

な格差が見られた。平均 494 千円で前年の 455 千円を上回った。1 号から 3 号については平均 540 千円で他の経営を約 50 千円上回っているが、前年平均 555 千円から減少している。

肥育牛 1 頭当たり増加額を飼養日数で除した 1 日 1 頭当たり増加額は 383 円から 1,052 円と幅があり、平均 777 円で前年度平均 718 円を上回った。

肥育牛 1 当たり増加額から飼料費を差引いた肥育差益は飼料費を把握できた 1 号から 3 号経営までの数値であるが、198 千円から 390 千円と幅があり、平均 277 千円で前年平均 242 千円を上回った。

肥育牛 1 頭当たり肥育差益を飼養日数で除した 1 日 1 頭当たり肥育差益についても 297 円から 618 円と幅があり、平均 445 円で前年度平均 382 円を上回っている。

素牛価格についてコスト低減を図っているが、販売価格の大幅な減少から増加額は前年度を若干下回った。出荷月齢を早くして飼料費の削減も図られ、肥育差益については、前年度を上回っている。

平成 13 年度から上昇し続けた増加額と肥育差益だが、素畜費と飼料費の高騰の影響から平成 18 年度から減少傾向に入り平成 20 年下期の世界的経済不況によってそれに拍車がかかっている。

3. 指導の方向と対策

肥育もと牛の価格が、全国平均では若干下がっているが、本県の肥育経営スタイルでは、優良な系統を導入し少数精銳で経営を維持していくかなければならいため、あいかわらず高い肥育もと牛を導入せざるを得ない状況が続いている。海上運賃も原油高・中国への船舶事情などから高騰が続き、これら様々な要因が重なって日本着の飼料の価格高騰が続いている。生産費の約 7 割を占めるもと牛価格の高値安定と飼料価格の高騰に加えてリーマンショック以来続く慢性的な牛肉消費の低下による牛枝肉価格の低迷はじりじりと経営の体力を奪っている。これに追い打ちをかけるように平成 22 年の口蹄疫の発生、そして平成 23 年 3 月の東日本大震災による牛肉の風評被害が起きている。

(1) 収益性の向上

高い肥育もと牛、飼料価格の高騰、世界的不況の影響による枝肉価格の低迷という中で収益性向上のための対策を早急にとらなければならない。

費用の低減としては事例にもみられるが繁殖一貫生産を取り入れることによる素畜費の低減が考えられる。しかし繁殖和牛の飼養管理の技術面や繁殖部門が軌道に乗るまでの資金の回収等難しい面もある。酪農家と連携して E T や体外受精卵移植の子牛を導入する方法も考えられる。一貫生産にもいえることだが、この場合、子牛の哺育期・育成期の管理

技術が課題となる。また、地域内での子牛流通体制を確立するためには行政・関係機関の協力が不可欠である。

購入飼料費の低減については、全国的にエコフィードについて注目されはじめたが、本県においては食品製造副産物の利用技術は既に定着している。肉質及び増体を目指しながらトウフ粕、ビール粕を配合飼料と混合した独自の飼料給与技術をつちかってきたが、今後、配合飼料価格上昇に対して更に研究を進め食品製造副産物の利用を推進していかなければならぬ。農家個々での原材料の収集が困難になってくることも予測されることから、行政・関係機関の協力が必要となってくるであろう。

販売収入の増加による収益性向上だが、枝肉重量を増やして販売価格を増加させることが考えられる。年々出荷体重が増加してきていることは先に述べたが、最近の食肉市場では和牛去勢でも枝肉重量 500 kg以上があたりまえになっている。600 kg以上だと大きすぎて卸売業者に嫌われるが、交雑種においては枝肉重量をいかに確保するかが重要な課題となる。黒毛和種の去勢では 520kg から 540 kg、雌でも 450 kgを目指したい。

また、黒毛和種の場合、適正な価格で高品質、枝肉重量のできる肥育素牛を導入し肥育コストの節減を図ることである。生産コストを低減するには、肥育期間の短縮も重要な要素の一つであるが、肉質とのバランスを考慮しながら一日当たりの増体重を向上させ、肉量・肉質をより短期間で作る技術が必要である。

(2) 販売対策

今回の経営分析結果にみられるように順調に所得を伸ばしている経営も存在している。これらは高品質牛肉生産に努力し実行してきた経営である。消費者は「安全」で「安心」できる食料を求めている。家畜個体識別システムをはじめ牛トレーサビリティシステム等、生産者、行政、畜産業界一丸となって努力して「安全」については確保している。次のステップはいかに消費者に「安心」してもらうかである。消費者は生産者の顔が見える食品を求め、地産地消のニーズが以前に増して強くなっている。これは大消費地をかかえる本県にとってチャンスでもある。規模拡大によるスケールメリットを追求できない本県においては、地元の「安全・安心」に注目した販売戦略も今後の生き残り対策の一つである。欲を言えば、もう一つレベルアップして少数精銳で高付加価値生産を行い、「安全・安心」に「美味しい」という付加価値をプラスした銘柄牛ブランドを目指したい。

4. 経営診断分析図表

表-2 肉用子牛価格

単位:千円

年度	黒毛和種		交雑種		ホルスタイン 雄	初生牛		
	雌	雄	雄	雄		乳用種	交雫種	神奈川※
H5	276	363	116	92	54	67	51	
H10	326	411	186	72	18	69	50	
H11	332	417	159	59	24	64	48	
H12	343	423	208	87	47	96	77	
H13	301	360	181	68	38	88	67	
H14	344	411	220	68	53	113	86	
H15	375	447	241	51	42	113	85	
H16	417	494	259	66	40	113	95	
H17	447	522	285	98	37	133	107	
H18	466	544	291	116	41	150	110	
H19	447	526	200	99	33	95	75	
H20	350	416	128	87	28	77	56	
H21	324	392	248	85	30	112	80	
H22	358	417	246	83	39	135	103	
H23	366	428	188	90	36	105	88	

「農畜産業振興機構調査」※神奈川は「神奈川県家畜市場」調べ(乳用種・交雫種込み)

表-3 牛肉卸売価格

単位:円/kg

区分	去勢和牛 「A-5」		去勢和牛 「A-4」		去勢和牛 「A-3」	
	価格	前年比(%)	価格	前年比(%)	価格	前年比(%)
H5	2,618	99.0	1,946	96.1	1,511	97.6
H10	2,439	99.7	1,946	98.8	1,617	97.5
H11	2,425	99.4	1,883	96.8	1,518	93.9
H12	2,402	99.1	1,865	99.0	1,500	98.8
H13	2,182	90.8	1,600	85.8	1,235	82.3
H14	2,192	100.5	1,771	110.7	1,523	123.3
H15	2,346	107.0	1,963	110.8	1,733	113.8
H16	2,370	101.0	2,086	106.3	1,917	110.6
H17	2,451	103.4	2,166	103.8	1,981	103.3
H18	2,478	101.1	2,190	101.1	1,967	99.3
H19	2,464	99.4	2,131	97.3	1,836	93.3
H20	2,318	94.1	1,908	89.5	1,584	86.3
H21	2,186	94.3	1,757	92.1	1,500	94.7
H22	2,087	95.5	1,716	97.7	1,507	84.4
H23	1,853	88.8	1,518	88.4	1,271	77.1

区分	交雫種去勢牛 「B-3」		乳用種去勢牛 「B-2」		乳用種めす牛 「C-1」	
	価格	前年比(%)	価格	前年比(%)	価格	前年比(%)
H5	1,221	98.9	751	93.5	224	68.7
H10	1,280	92.1	589	76.6	196	63.2
H11	1,199	93.7	602	102.2	207	105.6
H12	1,236	103.1	781	129.7	318	153.6
H13	753	60.9	274	35.1	272	85.5
H14	1,115	148.1	528	192.7	213	78.3
H15	1,260	113.0	628	118.9	314	147.4
H16	1,419	112.6	805	128.2	407	129.6
H17	1,508	106.3	846	105.1	379	93.1
H18	1,439	95.4	860	101.7	363	95.8
H19	1,336	92.8	748	87.0	422	116.3
H20	1,217	91.1	780	104.3	431	102.1
H21	1,133	93.1	742	95.1	289	67.1
H22	1,198	105.7	655	88.3	280	96.9
H23	826	77.1	458	70.0	284	101.4

農水省「食肉流通統計」・東京食肉市場(株)

表-4 診断農家の飼養規模(労働員数1人当り)

項目		1号	2号	3号
飼 養 頭 数	肥 育 牛	黒毛和種	92.6	40.9
		交雑種	0.0	0.0
		乳用種	0.0	0.0
		計	92.6	40.9
繁殖和牛			53.9	53.9
			1.0	6.0
子牛育成			5.4	4.7
			1.0	3.0
販 売 頭 数	肥 育 牛	黒毛和種	47.5	18.5
		交雑種	0.0	0.0
		乳用種	0.0	0.0
		計	47.5	18.5
	肥育もと牛		25.3	25.3
			0.0	0.0

図3 生産費構成割合(3事例平均)

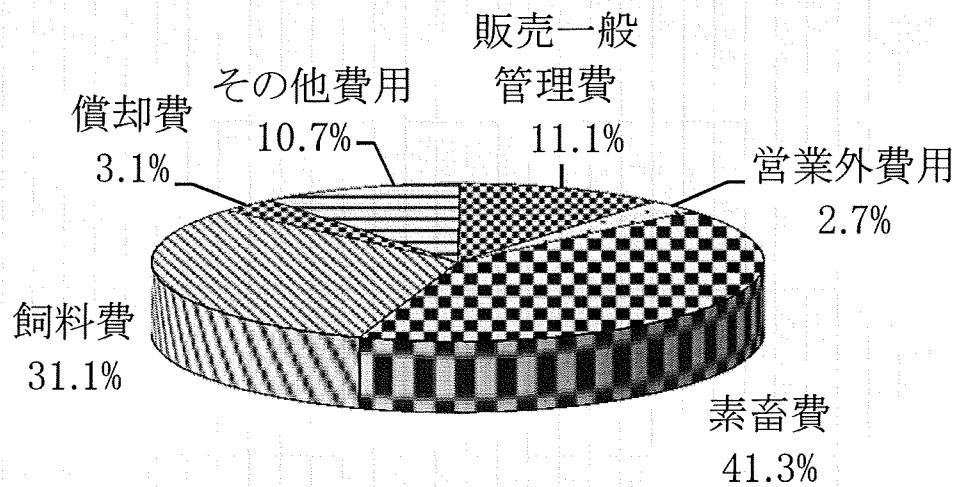


表5 肥育牛1頭当たり収益性

項目	1号	2号	3号	平均	21年度平均	20年度平均	19年度平均	17年度平均	15年度平均	13年度平均
肥育牛販売収入	505,235	604,673	529,482	546,464	655,041	650,748	706,220	627,170	504,667	326,353
育成牛販売収入	0	0	0	0	0	0	57,085	47,577	19,808	4,333
堆肥販売収入	9,537	14,578	0	8,038	8,642	9,590	31,302	13,680	13,745	9,527
計	514,772	619,252	529,482	554,502	663,683	660,338	794,607	688,427	538,220	340,214
種付料	136	2,300	0	812	1,256	1,601	3,203	1,406	355	1,927
糞畜費	239,131	284,790	166,463	230,128	251,496	265,451	298,449	269,973	187,659	115,434
購入飼料費	160,741	176,220	169,512	168,824	187,410	197,179	196,872	165,159	157,297	141,385
整修料費	0	0	9,938	3,313	5,028	4,760	7,808	9,228	4,466	5,556
雇用労働費用	56,498	73	15,333	23,968	22,878	10,426	8,844	6,939	4,455	3,394
診療・医薬品費	8,380	16,313	4,657	9,783	10,611	9,596	10,490	10,306	7,534	6,425
水道光熱費	2,589	6,027	3,584	4,067	4,397	4,243	12,122	5,607	6,106	4,782
燃料費	2,589	6,027	3,584	4,067	4,397	4,243	13,234	8,093	5,211	4,835
減価償却費	30,238	7,637	1,530	13,135	4,198	4,452	20,593	8,657	7,575	6,688
建物構築物 器具車両 償繁殖牛	3,510	2,096	1,272	2,292	3,449	6,711	22,953	13,964	5,593	4,671
却小計	0	4,185	3,096	2,427	2,657	1,588	1,174	671	959	2,496
修繕費	33,748	13,918	5,897	17,854	10,304	12,751	44,720	23,293	14,127	16,855
貯料料金	7,154	22,256	7,070	12,160	9,124	16,031	13,630	7,914	9,824	7,622
その他費用	419	1,147	1,114	893	2,058	1,892	2,988	1,835	2,494	1,054
当期生産費用計	511,384	529,071	387,153	475,869	508,959	528,205	612,447	513,448	405,572	317,194
期首飼養牛評価額	690,851	518,644	755,556	655,017	627,836	795,392	780,350	610,200	486,559	407,928
期中振替額	0	0	0	0	0	0	0	2,193	0	0
期末飼養牛評価額	715,374	573,489	724,368	671,077	556,023	809,123	754,355	649,215	509,798	428,184
売上原価	486,860	474,227	418,341	459,809	580,772	514,473	638,442	472,240	382,333	296,938
副産物価額	9,537	14,578	0	8,038	8,642	9,590	31,302	13,680	13,745	9,527
生産原価	477,323	459,648	418,341	451,771	572,130	504,884	607,140	458,560	368,588	287,411
売上総利益	27,912	145,025	111,141	94,693	82,910	145,865	156,165	216,187	155,887	43,275
販売経費	41,047	39,950	37,656	39,551	42,627	37,828	42,088	39,016	35,456	14,498
販売一般管理費計	75,987	52,141	53,957	60,695	85,341	72,893	65,882	71,071	64,495	44,383
営業利益	-48,075	92,884	57,185	33,998	-2,431	72,972	90,283	145,116	91,391	-1,108
奨励金・補てん金	41,962	31,966	50,414	41,447	62,203	19,065	22,319	6,502	12,986	40,384
営業外収益計	47,190	50,461	50,414	49,355	63,274	19,139	24,261	10,197	16,169	45,127
基金積立金	6,317	5,875	7,951	6,715	4,725	6,397	5,625	4,510	6,058	6,020
営業外費用計	6,513	16,331	19,824	14,223	12,530	5,359	19,907	6,683	9,184	7,842
当期純利益	-7,398	127,013	87,775	69,130	48,313	86,752	94,637	148,630	98,376	36,177
所得率	-1,44%	20,51%	16,58%	12,47%	7,28%	13,14%	11,91%	21,59%	18,28%	10,63%

表-6 育成牛の出荷成績

項目	1号	2号	3号	最大	最小	平均	21年度平均	19年度平均	17年度平均	15年度平均	13年度平均
肥育開始日	284.0	277.0	286.0	277.0	282.9	286.0	283.0	282.3	290.8	281.5	281.5
(導入時) 体重 kg	313.0	295.0	315.0	315.0	295.0	309.5	311.5	314.6	298.6	298.4	284.8
肥育終了日	893.4	909.7	956.1	956.1	893.4	910.4	932.1	928.2	947.0	924.8	918.6
(出荷時) 体重 kg	792.0	859.0	852.0	859.0	792.0	819.6	839.1	820.0	771.3	753.3	725.3
黒毛和飼養(肥育) 日数	609	632	670	670	609	627.1	646.3	645.2	664.8	633.8	637
和飼養(肥育) 回転率	0.60	0.58	0.54	0.60	0.54	0.6	0.60	0.57	0.55	0.58	0.58
種類 飼養期間増体重	kg	479.0	564.0	537.0	564.0	479.0	510.1	527.5	505.3	472.7	454.8
DG(全期間)	kg	0.787	0.892	0.801	0.892	0.787	0.8	0.800	0.783	0.712	0.718
もど牛価格1頭当たり	円	481,256	517,506	505,969	517,506	481,256	494,535	601,133	600,763	492,284	434,541
生体扣当り	円	1,538	1,754	1,606	1,754	1,538	1,600	1,931	1,909	1,670	1,454
若勢	kg	527	544	563	563	527	538	559	541	509	492
枝肉重量	kg	1,027,853	1,182,177	991,615	1,182,177	991,615	1,054,076	1,156,840	1,297,045	1,035,543	832,699
販売価格1頭当たり	円	1,298	1,376	1,164	1,376	1,164	1,286	1,382	1,626	1,677	1,373
生体扣当り	円	1,952	2,175	1,761	2,175	1,761	1,960	2,074	2,465	2,542	2,102
枝肉扣当り	円	1,00.0	83.3	100.0	83.3	100.0	71.6	80.4	81.9	80.2	79.7
A4以上率	%	71.6	4.0	0.0	4.0	0.0	2.3	1.1	0.6	4.3	1.7
死亡向事故率	%	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	2.3	1.1	0.6	4.3	4.4
平均	1頭当たり	円	546,597	664,671	485,646	664,671	485,646	559,540	555,707	734,499	804,761
増加額	1日当たり	円	898	1,052	725	1,052	725	894	865	1,138	1,218
出荷時評価額	円	746,926	791,328	792,847	792,847	746,926	766,545	913,887	881,976	762,569	694,530
平均	1頭当たり	円	280,927	390,849	198,768	390,849	198,768	287,530	242,953	453,286	534,476
肥育差益	1日当たり	円	461	618	297	618	297	461	381	703	811
											538
											313

表7 1頭1日当たり増加額と肥育差益(黒毛和種去勢)

農家番号	4等級 以上	枝肉重量 (kg)	枝肉単価 (円)	出荷日齢 (日)	素牛価格 (円)	飼料費 (円)	販売価格 (円)	1頭当 増加額 (円)	1頭当 肥育差益 (円)	1日1頭当 増加額 (円)	1日1頭当 肥育差益 (円)
1	71.6	527.0	1,952	893.4	481,256	265,670	1,027,853	546,597	280,927	897	461
2	100.0	544.0	2,175	909.7	517,506	273,822	1,182,177	664,671	390,849	1,052	618
3	83.3	563.0	1,761	956.1	505,969	286,878	991,615	485,646	198,768	725	297
4	77.6	511.9	1,874	930.5	477,138		971,483	494,345		723	
5	82.6	494.4	1,756	928.1	398,391		869,169	470,778		670	
6	94.3	497.7	1,937	929.0	475,588		974,786	499,198		805	
7	93.3	516.8	1,856	936.3	489,222		943,883	454,661		702	
8	55.7	518.8	1,645	855.8	494,944		924,693	429,749		744	
9	77.8	504.9	1,890	932.9	512,222		976,226	464,004		725	
10	22.2	440.1	1,060	912.0	242,267		477,238	234,971		383	
平均	76.6	518.1	1,840	912.7	474,437		968,601	494,163		777	
1~3平均	80.4	538.5	1,960	910.4	494,535	272,010	1,054,076	540,246	277,616	863	445
21年度	77.6	532.5	1,960	922.7	601,753		1,056,917	455,163		718	
1~3平均	81.9	559.0	2,074	932.1	601,133	312,754	1,156,840	555,707	242,953	865	382
20年度	77.6	512.2	2,081	922.3	588,827		1,087,183	498,357		785	
1~3平均	84.5	552.5	2,258	925.5	614,671	352,034	1,245,636	630,965	278,931	980	436
19年度	79.4	511.0		914.5	586,896		1,194,890	607,994		951	
1~3平均	80.2	541.0	2,465	928.0	600,763	283,744	1,335,262	734,499	453,286	1,138	703
18年度	77.2	514.0	2,471	935.6	517,825	271,701	1,271,442	753,617	481,917	1,156	740
17年度	79.7	509.0	2,542	947.0	492,284	270,285	1,297,045	804,761	534,476	1,218	811
16年度		502.0	2,419	939.8	462,265	270,102	1,217,444	755,179	485,076	1,139	731
15年度		492.0	2,102	924.8	434,541	259,989	1,035,543	601,001	341,043	948	538
14年度		479.0	1,980	948.8	459,613	234,043	951,287	491,675	257,632	757	394
13年度		484.0	1,718	918.6	418,052	219,010	832,699	414,647	195,637	659	313